

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 8月 1日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

東京都港区芝浦3丁目4番1号

グランパークタワー

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)

日本エア・リキード合同会社

ヴィルジニー・キャヴァリ

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項

第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例

第26条第1項

第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更)  
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日本エア・リキード合同会社 ヴィルジニー・キャヴァリ
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー

1 事業者の概要

事業所の名称	日本エア・リキード合同会社 野洲ガスセンター					
事業所の所在地	滋賀県野洲市市三宅800番地 85号ビル					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	2	3	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	圧縮ガス・液化ガス製造業					
従業員の数	6	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ		台	熱源設備		台
	コンプレッサ	5	台	空気調和設備	2	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2018	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2022	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

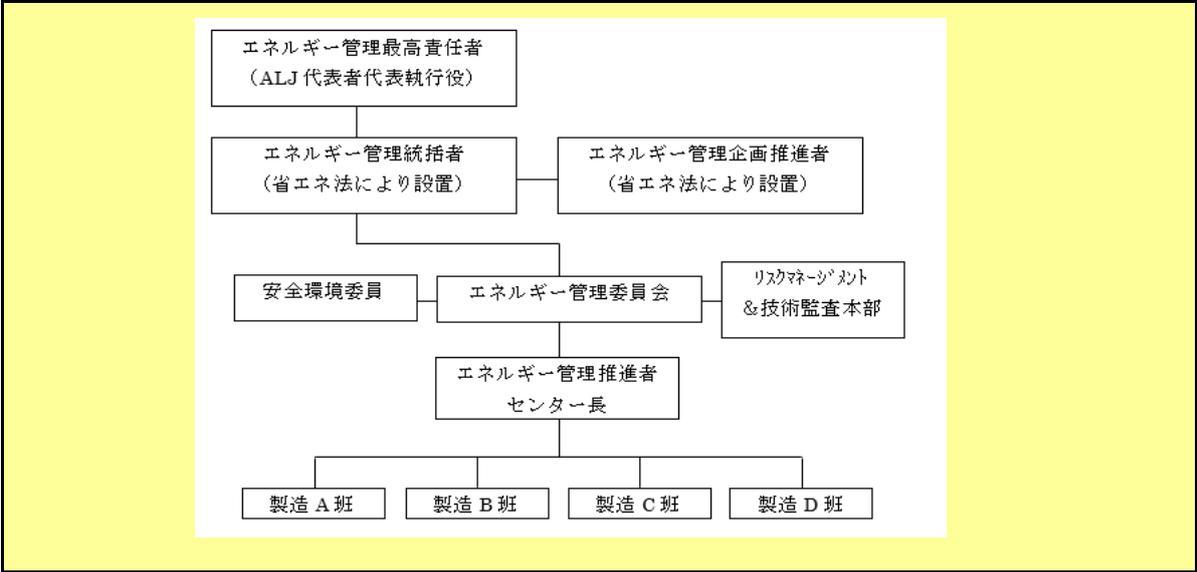
・平成22年度、エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者が選任され、エネルギー管理統括者を委員長・エネルギー管理企画推進者を副委員長としたエネルギー管理委員会を立ち上げました。本委員会において、エネルギー管理規定の整備・エネルギー管理標準未整備事業所への整備推進を行うことにより、省エネルギーの推進と達成状況のチェックを行い、全社的にCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進していくものです。

全社の効率改善活動の実施により、効率向上と節約を実施。

・主要工場のエネルギー効率評価を行い、効率の悪い機器の特定と改善計画の作成および実施。

・会議において、省エネ活動(原単位UP等)の周知を実施。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

(This section is currently blank in the provided image.)

## (第2面)

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	製品ガス使用量(需要)に応じた適正な運転管理		継続実施中
2				
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
エネルギー使用量【原油換算kL】 原単位 = $\frac{\text{エネルギー使用量【原油換算kL】}}{\text{窒素ガス生産量【kNm3】}}$ で評価する	2022年度の評価値:0.1141 で、2021年度の評価値: 0.1150に対し約0.8%現象した。 2022年度は顧客のガス需要量 の変動に合わせ、最適な運転に 務めた。

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			( H30 )年度	( H31 )年度	( R2 )年度	( R3 )年度	( R4 )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,595	3,262	3333	3260	3282	2,851
温室効果ガス総排出量	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>	7,114	5,515	4,560	4,308	4,619	3,325
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>	7,114	5,515	4560	4308	4619	3,325
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
CH <sub>4</sub>	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
N <sub>2</sub> O	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
HFCs	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
PFCs	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
SF <sub>6</sub>	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
NF <sub>3</sub>	t <sub>CO<sub>2</sub></sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.122	0.113	0.116	0.114	0.115	0.114

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度				
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						